

日本語部

Japanese Language Ministry

2025 年 8 月 24 日

シリーズタイトル: ダビデの生涯

今週のタイトル:

サムエル記下 13 - 19 章

ブロディ・ローエン牧師

主に属することは、私たちの想像をはるかに超える祝福をもたらします。しかし、その恵みをいつも実感できるわけではありません。私たちは山あり他にあるの人生を歩みます。その中で神は、どのような状況にあっても私たちを御前へと招き、心の深い叫びを打ち明けるよう導いてくださいます。今日は、ダビデ王とその子アブサロムとの関係に目を向け、聖書から「嘆き」を学び、それを表現する時を持ちましょう。

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

サムエル記下 13 章 19 節

19 タマルは灰を頭にかぶり、まとっていた上着を引き裂き、手を頭に当てて嘆きの叫びをあげながら歩いて行った。

サムエル記下 13 章 21-22 節

21 ダビデ王は事の一部始終を聞き、激しく怒った。22 アブサロムはアムノンに対して、いいとも悪いとも一切語らなかった。妹タマルを辱められ、アブサロムはアムノンを憎悪した。

サムエル記下 13 章 37-39 節

37 アブサロムは、ゲシュルの王アミフドの子タルマイのもとに逃げた。ダビデはアムノンを悼み続けた。38 アブサロムはゲシュルに逃げ、三年間そこにいた。39 アムノンの死をあきらめた王の心は、アブサロムを求めている。

サムエル記下 14 章 32-33 節

32 アブサロムはヨアブに言った。「わたしはお前に来てもらおうと使いをやった。お前を王のもとに送って、『何のためにわたしはゲシュルから帰って来たのでしょうか、これではゲシュルにいた方がよかったです』と伝えてもらいたかったのだ。王に会いたい。わたしに罪があるなら、死刑にするがよい。」

33 ヨアブは王のもとに行って報告した。王はアブサロムを呼び寄せ、アブサロムは王の前に出て、ひれ伏して礼をした。王はアブサロムに口づけした。

サムエル記下 16 章 11-12 節

11 ダビデは更にアビシャイと家臣の全員に言った。「わたしの身から出た子がわたしの命をねらっている。ましてこれはベニヤミン人だ。勝手にさせておけ。主の御命令で呪っているのだ。12 主がわたしの苦しみを御覧になり、今日の彼の呪いに代えて幸いを返してくださるかもしれない。」